

新日鉄とアルセロール・ミッタル社との合意について

新日鉄は、アルセロール・ミッタル社（以下AM社）と2007年7月12日に締結した覚書に基づき、両社間の北米自動車鋼板合弁事業の拡大ならびに戦略提携契約の改訂について協議してきたが、以下の内容で合意した。

1. 北米における自動車鋼板合弁事業の拡大について
両社の合弁事業であるI/N Kote（米国インディアナ州）に、新たに自動車鋼板用溶融鋳めつきラインを1ライン新設することで合意した。今後、早急に設備建設に着手し、2010年内の稼働を目指す。
2. 両社間の戦略提携関連契約について
統合会社たるAM社が、アルセロール社の権利・義務を承継することで合意した。
＜新ラインの概要＞
・生産能力：約48万t/年（54万ショートt/年）

・投資額：約240百万ドル（目標）
・稼働開始時期：2010年内

お問い合わせ先
広報センター
TEL 03-3275-5021~5023

ブラジル・ウジミナス社 拡張投資計画の進捗について

新日鉄の持分法適用関連会社であるウジミナス社は、3月に経営審議会を行い、2007年8月9日に公表した同社の拡張投資計画の主な案件に関して、以下のとおり決定・確認した。

1. ユニガル社第2CGLの建設
①生産規模：55万t/年（第1CGL48万t/年）

- ②立地：ウジミナス社
イパチンガ製鉄所構内（第1CGL隣接地）
- ③稼働時期：2010年末
2. イパチンガ製鉄所厚板工場能力増強
①増強規模：+50万t/年（現状100万t/年）
- ②立地：ウジミナス社
イパチンガ製鉄所
- ③稼働時期：2010年秋

3. クバトン製鉄所熟延工場新設
①生産規模：第一期230万t/年（拡張時最大能力470万t/年）
- ②立地：ウジミナス社
クバトン製鉄所
- ③稼働時期：2011年4月予定
4. 新規鉄源製鉄所の建設
粗鋼生産能力の拡大については、イパチンガ製鉄所の能力拡張および新規鉄源製鉄所の建設を予定。

新規鉄源製鉄所については、300万t/年の半製品生産能力を持つ新製鉄所を、クバトン製鉄所隣接地を主案として検討を行う。

お問い合わせ先
広報センター
TEL 03-3275-5021~5023

「内部欠陥の少ない大口径 SiC 単結晶ウエハー」が日経 BP 技術賞を受賞

新日鉄技術開発本部先端技術研究所が開発した「内部欠陥の少ない大口径炭化ケイ素（SiC）単結晶ウエハー」が、2008年日経BP技術賞を受賞した。

日経BP賞は、日本の技術の発展に寄与する目的で創設され、日本の産業や社会に大きなインパクトをもたらす優れた技術を表彰する賞で、当社としては初めての受賞となる。

SiC単結晶ウエハーは、シリコンウエハーに比べ、耐熱性・

耐電圧性に優れ、かつ電力消費が少ないため、次世代の半導体材料と期待されている。しかし、デバイスの量産に適する大口径（100mm）ウエハーは、その製造過程でマイクロパイブという通電不良部が生じるため、これまで実用化されているウエハーは2～3インチの口径に留まっていた。当社は製造プロセス制

御の最適化などにより、大口径での欠陥発生を大幅に抑制することに成功し、極めて高品質な大口径SiC単結晶ウエハーを実現した。



お問い合わせ先
広報センター TEL 03-3275-5021

君津製鉄所が累計出鉄・粗鋼生産・総出荷量 1,000 万 t 超を達成

君津製鉄所は2007年度の累計出鉄量・粗鋼生産量・総出荷量において、初めて3種同時に1,000万t超を達成した。出鉄量と総出荷量で1,000万tを超えたのは初めてのことで、粗鋼生産量は3年連続での記録更新となった。第二製鋼、線材、厚板

など各工程でもそれぞれ年度生産新記録を達成した。

今後お客様のニーズに合わせた高品質の製品を安定的に供給していきけるよう全所一丸となって取り組んでいく。



お問い合わせ先
君津製鉄所 総務部総務グループ TEL 0439-50-2013

新日鉄—宝鋼友好協力30周年—記念植樹の桜が満開

2007年11月に行われた新日鉄と中国・宝鋼集団との友好協力30周年記念行事において、

君津製鉄所熟延サブセンター前に植樹された2本の桜（ソメイヨシノ）が、初めての冬を乗り越え

て、4月初旬に満開となった。



「環境フェア in KOBE」出展のお知らせ—5月23～26日に神戸市で開催

新日鉄は、5月23～26日の4日間、兵庫県神戸市中央体育館で開催される「環境フェア in KOBE」に出展する。この環境フェアは、北海道洞爺湖サミットに向けたG8環境大臣会合に伴う公式行事として行われる。

当社は、世界最高水準の技術開発力を基盤として、地球温暖化防止・環境保全に向けて大きく貢献していることをPRする。また、全国の製鉄所の“郷土の森づくり”や、鉄鋼スラグを活用した磯焼け改善プロジェクト

“海の森づくり”など、さまざまな取り組みを紹介する。

お問い合わせ先
環境部
TEL 03-3275-5154



新日鉄グループのブース完成予想図

北海道支店が新日鉄グループの土木商品総合カタログを発行

新日鉄北海道支店は、広域営業の効率化を目的として、新日鉄グループの主力土木商品に掲載した独自総合カタログ『新日鉄グループの主な土木商品のご紹介』を編集・発行した。すでに昨年発行しグループでの協働営業に活用し成果を挙げている『北海道地区建築商品カタログ』に続く第二弾。今回、土木分野のカタログを加えることで、同地域のマーケットの主力である建材商品全般を網羅できること

になる。今回発行したカタログでは、地域特性を勘案して、支店で独自開発し、道内普及はもとより全国的にも展開しつつある水中ストラット工法や、火山砂防工事に適する鋼矢板の置き二重壁など、北海道独自の製品・工法を中心にグループ14社、約80点を紹介している。会社別の取扱商品一覧のほか、分野・用途別のページ構成とし、個別の商品説明ページに問い合わせ先を明

記するなど、需要家サイドでの商品・工法検討時の利便性を考慮した。

4月より道内の需要家に配布を開始。今後、新日鉄グループの総合力強化および受注成果拡大を図るツールとして活用していく。

お問い合わせ先
新日鉄北海道支店
TEL 011-222-8771



新日鉄ソリューションズ(株)がソフトウェア開発センターを開設

新日鉄ソリューションズ(株)は、本年4月にソフトウェアの品質向上およびグローバル分散開発の推進を目指しソフトウェア開発センターを開設した。

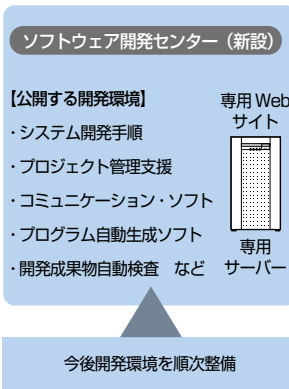
プロジェクトの大型化に伴い、オフショア(海外委託型)を含めたソフトウェアの分散開発が進む一方、複雑・高度化に対応するため、開発プロセスや成果物の標準化・可視化など開発における管理の全社集中化などガバナンス強化が広がっている。

同社ソフトウェア開発センターでは、標準化された業務プロセスを遂行するためのシステムおよび開発環境、プロジェクト現場が当該システムおよび開

発環境を利用する際のサポート、開発ツール群などをインターネット回線や専用線を通じ開発チームに提供する。

今後、同社はソフトウェア開発センターが提供する統一開発環境を積極的に活用していく。また、開発を外部委託しているソフトウェアの品質向上を目指し、主要開発パートナーに対してサービスを提供する。第一弾として、地方に分散する同社開発子会社7社に加え、中国やベトナムのシステム開発大手など合計11社に対してサービス提供を開始しており、今後順次対象会社を増やす予定。

新日鉄ソリューションズ



パートナー企業

関連子会社
全国8カ所にある
新日鉄の製鉄所に併設
しているシステム子会社

大連華信計算機技術公司
(中国)

FPT ソフトウェア
(ベトナム)

他のシステム会社(日本)

今後公開するパートナーを増やす

お問い合わせ先
新日鉄ソリューションズ(株) 総務部広報・IR室 TEL 03-5117-6080

紀尾井ホール (財)新日鉄文化財団

5月主催・共催公演から <http://www.kioi-hall.or.jp>

- 16、17日 紀尾井シンフォニエッタ東京 第64回定期演奏会
出演：ライナー・ホーネック(指揮・Vn)、
紀尾井シンフォニエッタ東京(Orch)
曲目：シューベルト ヴァイオリンと管弦楽のためのポロネーズ D580、
交響曲第7番短調 D759「未完成」ほか
- 21日 別府アルゲリッチ音楽祭 第10回記念公演 in 東京 室内楽コンサート
出演：マルタ・アルゲリッチ(Pf)、ミッシェル・マイスキー(Vc)、
櫻本大進(Vn)ほか
曲目：後日発表
- 27、28日 NTTファイナンス Presents ヴィオラスペース 2008 vol.17
<27日・第一夜>
出演：菅沼準二、ガース・ノックス(Va)、橋本晋哉(チューバ)ほか

- 曲目：ノックス「ヨナとくじら」、
ブラームス ヴィオラ三重奏曲 短調 op.114 ほか
- <28日・第二夜>
出演：ガース・ノックス(ヴィオラ・ダモーレ)、アントワン・タメステイ、
鈴木康浩(Va)ほか
曲目：ヴィヴァルディ ヴィオラ・ダモーレ協奏曲 二短調、
モーツァルト 協奏交響曲変奏長調 K.364 ほか
- 28日 住大夫三夜～第三夜【邦楽】
出演：竹本住大夫(浄瑠璃)、野澤錦糸(三味線)、山川静夫(対談)
曲目：「伊賀越道中双六」沼津の段

お問い合わせ・チケットのお申し込み先：
紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061(受付10時～18時 日・祝休)